

# 平成 13 年社会生活基本調査の生活時間に関する結果の概要について

平成 13 年社会生活基本調査は、国民の生活時間の配分及び自由時間等における主な活動について調査し、国民の社会生活の実態を明らかにすることにより、各種行政の施策の基礎資料を得ることを目的として、総務省統計局が平成 13 年 10 月に実施した。

社会生活基本調査は、昭和 51 年の第 1 回調査以来 5 年ごとに実施しており、今回の調査は 6 回目に当たる。

調査の対象は、全国の世帯から無作為に選定した約 7 万 7 千世帯のうち、その世帯にふだん住んでいる 10 歳以上の世帯員約 20 万人で、本県では、約 1,300 世帯を対象に実施された。

今回総務省から公表された調査結果は、このうち生活時間の配分に関する結果である。

この資料は、総務省の公表結果から、宮城県に関する部分を概要としてまとめたものである。

(注) 用語については、以下のとおりである。

- ・ 1 次活動 : 睡眠, 食事など生理的に必要な活動
- ・ 2 次活動 : 仕事, 家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動
- ・ 3 次活動 : 上記以外で各人が自由に使える時間における活動

## 1 1 日の生活時間の配分

### (1) 概 観

宮城県に住んでいる 10 歳以上の人について、1 日の生活時間(週全体平均(以下「週全体」という))をみると、1 次活動の時間が 10 時間 41 分、2 次活動の時間が 6 時間 46 分、3 次活動の時間が 6 時間 33 分となっている。

これを 15 歳以上の人についてみると、それぞれ 10 時間 40 分、6 時間 50 分、6 時間 31 分となっている。

男女別にみると、1 次活動時間は、女性が男性より長くなっており、2 次及び 3 次活動時間は男性が長くなっている。

表1 1日の生活時間 - 週全体

(時間 .分)

	総 数		男		女	
10歳以上						
1次活動	10.41	(-0.03)	10.29	(-0.11)	10.53	(0.05)
2次活動	6.46	(-0.22)	6.57	(-0.12)	6.36	(-0.32)
3次活動	6.33	(0.25)	6.35	(0.24)	6.31	(0.26)
15歳以上						
1次活動	10.40	(-0.01)	10.27	(-0.11)	10.51	(0.06)
2次活動	6.50	(-0.24)	7.01	(-0.14)	6.39	(-0.35)
3次活動	6.31	(0.27)	6.32	(0.24)	6.30	(0.29)

( )内は平成8年との増減

## (2) 生活時間の動向

## 2次活動時間は減少、3次活動時間は増加

15歳以上の人について生活時間を平成8年と比較すると、1次活動時間は10時間40分で、平成8年の10時間41分とほぼ同じとなっている。2次活動時間は6時間50分で、平成8年の7時間14分より大幅に減少している。逆に、3次活動時間は、6時間31分で、平成8年の6時間4分より大幅に増加している。

特に女性の2次活動時間は、35分減少して6時間39分となり、昭和51年の調査開始以降初めて7時間を下回った。

表2 行動の種類別生活時間(15歳以上) - 週全体

(時間 .分)

行 動 の 種 類	総 数		男		女	
	平成13年 (2001)	平成8年 (1996)	平成13年 (2001)	平成8年 (1996)	平成13年 (2001)	平成8年 (1996)
<b>1次活動</b>	10.40	10.41	10.27	10.38	10.51	10.45
睡眠	7.50	7.57	7.52	8.05	7.48	7.50
身の回りの用事	1.14	1.07	1.02	0.57	1.26	1.16
食事	1.35	1.37	1.33	1.35	1.38	1.39
<b>2次活動</b>	6.50	7.14	7.01	7.15	6.39	7.14
通勤・通学	0.27	0.29	0.36	0.37	0.19	0.21
仕事	3.49	4.20	5.10	5.45	2.33	2.59
学業	0.30	0.24	0.42	0.27	0.18	0.22
家事	1.26	1.23	0.15	0.10	2.32	2.33
介護・看護	0.03	0.04	0.02	0.01	0.04	0.07
育児	0.13	0.12	0.04	0.03	0.21	0.22
買い物	0.23	0.21	0.12	0.11	0.32	0.30
<b>3次活動</b>	6.31	6.04	6.32	6.08	6.30	6.01
移動(通勤・通学を除く)	0.32	0.24	0.30	0.25	0.33	0.24
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.36	2.34	2.37	2.36	2.35	2.32
休養・くつろぎ	1.20	1.17	1.18	1.12	1.22	1.22
学習・研究(学業以外)	0.11	0.10	0.11	0.11	0.12	0.09
趣味・娯楽	0.43	0.30	0.48	0.37	0.37	0.24
スポーツ	0.09	0.10	0.13	0.14	0.06	0.07
ボランティア活動・社会参加活動	0.05	0.03	0.06	0.03	0.05	0.03
交際・付き合い	0.27	0.29	0.25	0.27	0.30	0.30
受診・診療	0.08	0.07	0.07	0.06	0.09	0.08
その他	0.20	0.19	0.18	0.16	0.22	0.22
<b>(再掲)</b>						
家事関連時間	1.65	1.60	0.33	0.25	2.89	2.92
休養等自由時間活動	3.56	3.51	3.55	3.48	3.57	3.54
積極的自由時間活動	0.68	0.53	0.78	0.65	0.60	0.43

注1:「家事関連時間」は、「家事」、「介護・看護」、「育児」、「買い物」の合計時間

注2:「休養等自由時間活動」は、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」、「休養・くつろぎ」の合計時間

注3:「積極的自由時間活動」は、「学習・研究」、「趣味・娯楽」、「スポーツ」、「ボランティア活動・社会参加活動」の合計時間

## 土曜日の2次活動時間が大幅に減少

10歳以上の人について曜日別の生活時間を平成8年と比較すると、平日は男性は1次及び2次活動時間で減少し、女性は2次活動時間が減少した。土曜日は男女とも2次活動時間が減少し、3次活動時間が増加した。日曜日は男性は1次活動時間で、女性は2次及び3次活動時間で減少した。とりわけ、土曜日の2次活動時間は男性が42分、女性が1時間13分と大幅に減少している。

表3 曜日別生活時間（10歳以上）

		平成13年			平成8年		
		平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日
総数	1次活動	10.27 (-0.05)	11.03 (0.49)	11.30 (-0.03)	10.32	10.54	11.33
	2次活動	7.36 (-1.04)	5.23 (-1.18)	3.57 (-0.01)	8.00	6.01	3.58
	3次活動	5.57 (0.29)	7.34 (0.28)	8.33 (0.04)	5.28	7.06	8.29
男	1次活動	10.13 (-0.17)	10.56 (0.12)	11.22 (-0.09)	10.30	10.44	11.31
	2次活動	8.04 (-0.09)	5.05 (-0.42)	3.09 (0)	8.13	5.47	3.09
	3次活動	5.43 (0.25)	7.59 (0.30)	9.29 (0.09)	5.18	7.29	9.20
女	1次活動	10.41 (0.06)	11.10 (0.07)	11.37 (0.03)	10.35	11.03	11.34
	2次活動	7.09 (-0.38)	5.40 (-1.13)	4.43 (-0.02)	7.47	6.13	4.45
	3次活動	6.10 (1.13)	7.10 (1.06)	7.40 (-0.01)	5.37	6.44	7.41

( )内は平成8年との増減

## 1次及び2次活動時間の男女差は拡大

15歳以上の人について生活時間の男女差（男性 - 女性）を平成8年と比較すると、1次活動時間は - 7分から - 24分へ、2次活動時間は + 1分から + 22分へとそれぞれ差が拡大し、3次活動時間は + 7分から + 2分へと縮小しており、総じて生活時間の男女差は拡大している。

## (3) 年齢階級別にみる生活時間

### 若年層と高齢層で長い1次及び3次活動時間

15歳以上の人について年齢階級別に生活時間をみると、1次活動時間は、男性の15～24歳（9時間55分）、女性の35～44歳（10時間6分）が最も短く、男女とも65歳以上の高齢層が長くなっている。

2次活動時間は、男女とも35～44歳（男性8時間46分、女性8時間21分）が最も長く、これより年齢が低い又は高いほど短くなっている。

3次活動時間は、2次活動時間とは対照的に、男性では35～44歳（5時間11分）、女性では25～34歳（5時間27分）が最も短く、これより年齢が低い又は高いほど長くなっている。

## 2次活動時間が減少し、3次活動時間が増加。特に高齢者の男性の増減が顕著

15歳以上の人について生活時間を平成8年と比較すると、1次活動時間は、男性が11分の減少、女性が6分の増加となっている。これを年齢階級別にみると、男性はすべての年齢階級で減少し、女性は15～24歳から45～54歳で増加しているが、それ以外の年齢階級で減少している。

2次活動時間は、男性が14分、女性が35分と大幅に減少している。これを年齢階級別にみると、男性は15～24歳で、女性は75歳以上で増加しているが、それ以外の各年齢階級で減少している。

3次活動時間は、2次活動時間とは逆に、男性が24分、女性が29分と増加している。年齢階級別にみると、男性の15～24歳、女性の75歳以上を除く各年齢階級で増加している。

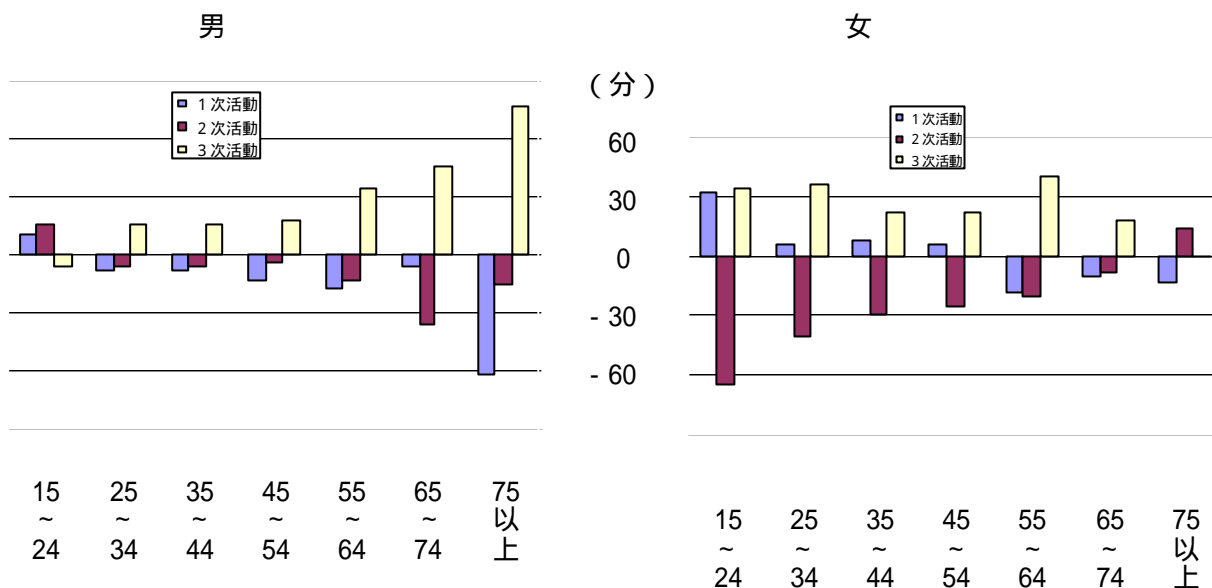
表4 年齢階級別生活時間の増減（15歳以上） - 週全体

(時間・分)

		平成13年			平成8年		
		1次活動	2次活動	3次活動	1次活動	2次活動	3次活動
総 数	15歳以上	10.40 (-0.01)	6.50 (-0.24)	6.31 (0.27)	10.41	7.14	6.04
	15～24歳	10.26 (0.10)	6.41 (-0.23)	6.53 (0.13)	10.16	7.04	6.40
	25～34歳	10.22 (-0.02)	8.06 (-0.23)	5.33 (0.26)	10.24	8.29	5.07
	35～44歳	10.05 (0)	8.33 (-0.19)	5.22 (0.19)	10.05	8.52	5.03
	45～54歳	10.09 (-0.04)	8.13 (-0.15)	5.38 (0.19)	10.13	8.28	5.19
	55～64歳	10.35 (-0.19)	6.38 (-0.17)	6.47 (0.37)	10.54	6.55	6.10
	65～74歳	11.34 (-0.09)	4.25 (-0.22)	8.01 (0.31)	11.43	4.47	7.30
	75歳以上	12.45 (-0.31)	2.06 (0.03)	9.09 (0.28)	13.16	2.03	8.41
男	15歳以上	10.27 (-0.11)	7.01 (-0.14)	6.32 (0.24)	10.38	7.15	6.08
	15～24歳	9.55 (-0.10)	7.22 (0.16)	6.43 (-0.06)	10.05	7.06	6.49
	25～34歳	10.10 (-0.08)	8.12 (-0.06)	5.38 (0.15)	10.18	8.18	5.23
	35～44歳	10.03 (-0.09)	8.46 (-0.07)	5.11 (0.15)	10.12	8.53	4.56
	45～54歳	10.02 (-0.13)	8.18 (-0.04)	5.40 (0.17)	10.15	8.22	5.23
	55～64歳	10.38 (-0.20)	6.31 (-0.14)	6.51 (0.34)	10.58	6.45	6.17
	65～74歳	11.38 (-0.06)	3.44 (-0.37)	8.39 (0.45)	11.44	4.21	7.54
	75歳以上	12.28 (-1.02)	1.38 (-0.15)	9.54 (1.17)	13.30	1.53	8.37
女	15歳以上	10.51 (0.06)	6.39 (-0.35)	6.30 (0.29)	10.45	7.14	6.01
	15～24歳	10.59 (0.32)	5.57 (-1.05)	7.04 (0.33)	10.27	7.02	6.31
	25～34歳	10.34 (0.05)	7.59 (-0.41)	5.27 (0.36)	10.29	8.40	4.51
	35～44歳	10.06 (0.08)	8.21 (-0.30)	5.33 (0.22)	9.58	8.51	5.11
	45～54歳	10.15 (0.05)	8.09 (-0.26)	5.36 (0.21)	10.10	8.35	5.15
	55～64歳	10.32 (-0.19)	6.44 (-0.21)	6.44 (0.40)	10.51	7.05	6.04
	65～74歳	11.32 (-0.10)	4.59 (-0.08)	7.29 (0.18)	11.42	5.07	7.11
	75歳以上	12.54 (-0.14)	2.23 (0.14)	8.42 (-0.01)	13.08	2.09	8.43

( )内は平成8年との増減

図1 年齢階級別生活時間の増減（15歳以上） - 週全体



## 2 1次活動時間

### (1) 睡眠時間

#### 45～54歳で短い睡眠時間

15歳以上の人の睡眠時間（週全体）は7時間50分で、男性が7時間52分、女性が7時間48分と男性が長くなっている。

年齢階級別に睡眠時間をみると、45～54歳が7時間19分と最も短く、逆に、75歳以上が9時間24分と長くなっている。

これを男女別にみると、女性の睡眠時間は15～24歳及び75歳以上を除く各年齢階級で男性より短くなっており、特に45～54歳から65～74歳では20分以上短くなっている。

#### 男女とも75歳以上で大幅に減少

睡眠時間を平成8年と比較すると、7分の減少となっており、年齢階級別では15～24歳を除く各年齢階級で、男女別では男性の65～74歳、女性の15～24歳を除く各年齢階級で減少している。

また、これを全国と比較すると、8分（男性3分、女性13分）長くなっている。

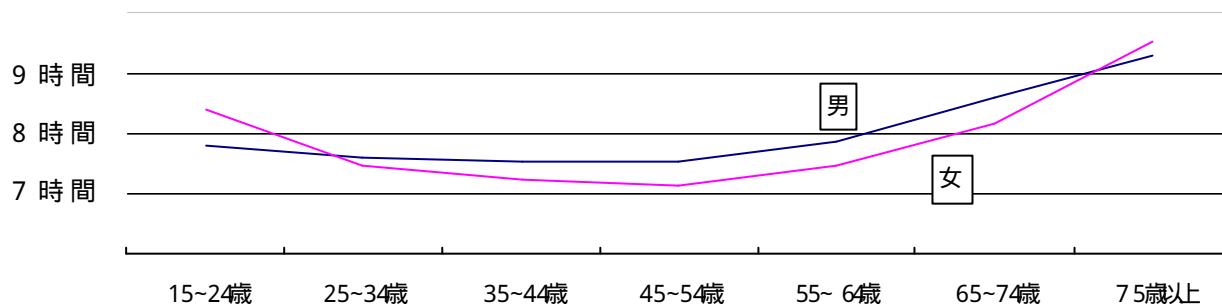
表5 年齢階級別睡眠時間（15歳以上）

(時間・分)

	総 数		男		女		男 - 女
	平成 13年	平成 8年	平成 13年	平成 8年	平成 13年	平成 8年	平成 13年
15歳以上	7.50 (-0.07)	7.57	7.52 (-0.13)	8.05	7.48 (-0.02)	7.50	( 0.04)
15~ 24歳	8.04 ( 0.13)	7.51	7.47 (-0.09)	7.56	8.21 ( 0.34)	7.47	(-0.34)
25~ 34歳	7.33 (-0.08)	7.41	7.36 (-0.13)	7.49	7.29 (-0.03)	7.32	( 0.07)
35~ 44歳	7.22 (-0.06)	7.28	7.31 (-0.10)	7.41	7.13 (-0.01)	7.14	( 0.18)
45~ 54歳	7.19 (-0.17)	7.36	7.31 (-0.19)	7.50	7.07 (-0.15)	7.22	( 0.24)
55~ 64歳	7.41 (-0.20)	8.01	7.53 (-0.23)	8.16	7.29 (-0.18)	7.47	( 0.24)
65~ 74歳	8.22 (-0.09)	8.31	8.37 ( 0.01)	8.36	8.10 (-0.17)	8.27	( 0.27)
75歳以上	9.24 (-0.44)	10.08	9.15 (-1.09)	10.24	9.29 (-0.29)	9.58	(-0.14)
全 国	7.42 (-0.02)	7.44	7.49 (-0.03)	7.52	7.35 (-0.01)	7.36	( 0.14)

( )内は平成8年との増減

図2 男女、年齢階級別睡眠時間 - 週全体



### 土曜日の睡眠時間が増加

10歳以上の人について曜日別に睡眠時間をみると、1日（午前0時から起算する24時間）のうち、平日が7時間41分、土曜日が8時間12分、日曜日が8時間34分となっており、平日に比べ日曜日の睡眠時間が大幅に長く、その差は53分となっている。

平成8年と比較すると、平日と日曜日は減少し、土曜日は増加している。

表6 年齢階級別睡眠時間（10歳以上） - 週全体

(時間・分)

	総 数		男		女	
	平成 13年	平成 8年	平成 13年	平成 8年	平成 13年	平成 8年
平 日	7.41 (-0.10)	7.51	7.41 (-0.18)	7.59	7.41 (-0.03)	7.44
土 曜 日	8.12 ( 0.05)	8.07	8.16 ( 0.03)	8.13	8.08 ( 0.06)	8.02
日 曜 日	8.34 (-0.09)	8.43	8.41 (-0.14)	8.55	8.27 (-0.05)	8.32

( )内は平成8年との増減

## (2) 身の回りの用事の時間

### 25～34歳と65歳以上の女性で長い身の回りの用事の時間

15歳以上の人の洗顔、入浴、身じたく、化粧などの「身の回りの用事」の時間（週全体）は1時間14分で、男性が1時間2分、女性は1時間26分と、女性が長くなっている。

年齢階級別にみると、15～24歳が1時間6分と最も短く、75歳以上は1時間26分と最も長くなっている。

これを男女別にみると、男性15～24歳で53分と短く、75歳以上で1時間16分と長くなっている。一方、女性はすべての年齢階級で1時間を超えており、特に25～34歳と65～74歳以上では1時間30分台となっている。

### 45～54歳の女性で身の回りの用事にかかる時間が増加

「身の回りの用事」の時間を平成8年比較すると、7分の増加となっており、年齢階級別ではすべての年齢階級で、男女別では、男性は65～74歳で減少したが、女性はすべての年齢階級で増加しており、特に45～54歳で18分の増加となっている。

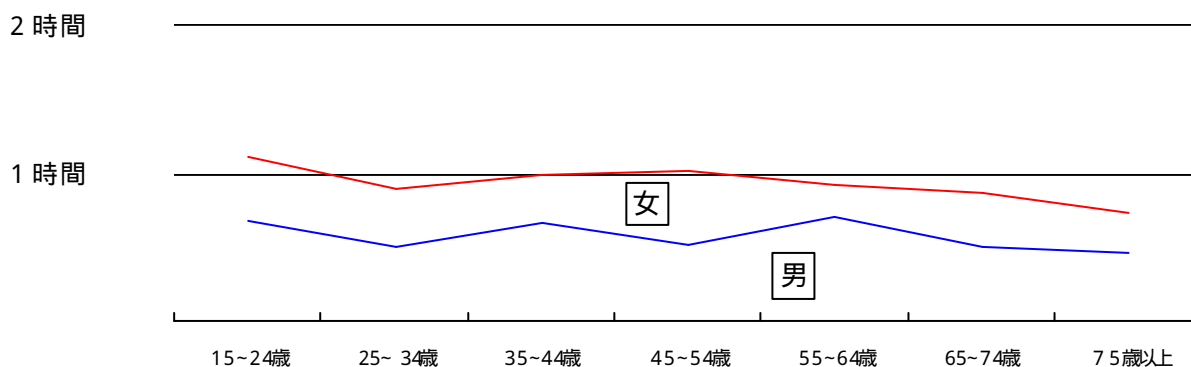
また、これを全国と比較すると、1分（男性同じ、女性3分）長くなっている。

表7 年齢階級別身の回りの用事の時間 - 週全体

	総 数		男		女	
	平成13年	平成8年	平成13年	平成8年	平成13年	平成8年
15歳以上	1.14 (0.07)	1.07	1.02 (0.05)	0.57	1.26 (0.10)	1.16
15～24歳	1.06 (0.03)	1.03	0.53 (0.04)	0.49	1.20 (0.01)	1.19
25～34歳	1.18 (0.05)	1.13	1.07 (0.05)	1.02	1.30 (0.07)	1.23
35～44歳	1.11 (0.06)	1.05	1.00 (0.01)	0.59	1.21 (0.10)	1.11
45～54歳	1.14 (0.13)	1.01	0.59 (0.08)	0.51	1.29 (0.18)	1.11
55～64歳	1.12 (0.09)	1.03	1.05 (0.09)	0.56	1.18 (0.08)	1.10
65～74歳	1.20 (0.05)	1.15	1.08 (-0.02)	1.10	1.30 (0.10)	1.20
75歳以上	1.26 (0.12)	1.14	1.16 (0.08)	1.08	1.32 (0.14)	1.18
全 国	1.13 (0.04)	1.09	1.02 (0.04)	0.58	1.23 (0.04)	1.19

( )内は平成8年との増減

図3 男女、年齢階級別身の回りの用事の時間 - 週全体



### (3) 食事時間

#### 若年層は短く、高齢層は長い食事時間

15歳以上の人の食事時間（週全体）は1時間35分で、男性が1時間33分、女性が1時間38分と、女性が長くなっている。

年齢階級別にみると、15～24歳が1時間17分と最も短く、これより年齢が高くなるほど長くなっており、75歳以上の高齢層は1時間55分と長くなっている。

これを男女別にみると、65～74歳以上を除く各年齢階級で女性が男性より長く、特に25～34歳では女性の方が9分長くなっている。

また、全国と比較すると、4分（男性3分、女性3分）短くなっている。

表8 年齢階級別食事時間 - 週全体

(時間.分)

	総 数		男		女		男 - 女
	平成 13年	平成 8年	平成 13年	平成 8年	平成 13年	平成 8年	
15歳以上	1.35 (-0.02)	1.37	1.33 (-0.02)	1.35	1.38 (-0.01)	1.39	(-0.05)
15～24歳	1.17 (-0.04)	1.21	1.16 (-0.04)	1.20	1.18 (-0.04)	1.22	(-0.02)
25～34歳	1.31 ( 0.01)	1.30	1.26 ( 0 )	1.26	1.35 ( 0.01)	1.34	(-0.09)
35～44歳	1.32 ( 0 )	1.32	1.32 ( 0.01)	1.31	1.32 (-0.01)	1.33	( 0 )
45～54歳	1.35 (-0.01)	1.36	1.31 (-0.04)	1.35	1.39 ( 0.02)	1.37	(-0.08)
55～64歳	1.42 (-0.08)	1.50	1.39 (-0.07)	1.46	1.44 (-0.10)	1.54	(-0.05)
65～74歳	1.53 (-0.04)	1.57	1.53 (-0.05)	1.58	1.52 (-0.04)	1.56	( 0.01)
75歳以上	1.55 ( 0.01)	1.54	1.58 ( 0 )	1.58	1.53 ( 0.01)	1.52	( 0.05)
全 国	1.39 ( 0 )	1.39	1.36 ( 0 )	1.36	1.41 (-0.02)	1.43	(-0.05)

( )内は平成8年との増減

## 3 2次活動時間

### (1) 仕事時間

#### 25～34歳で最も長い仕事時間

15歳以上の人のうち、有業者は約120万7千人（15歳以上人口に占める有業者の割合（有業者率）は60.7%）で、男性は約71万7千人（74.4%）、女性は約49万人（47.9%）となっている。

これを生産年齢人口（15～64歳）でみると、有業者は約110万4千人（有業者率69.7%）で、男性が約64万7千人（81.5%）、女性が約45万6千人（57.6%）となっており、有業者を平成8年と比較すると、男女とも低下している。

有業者の1日の仕事時間（週全体）は6時間13分で、男性が6時間54分、女性が5時間12分となっている。



これを年齢階級別にみると、25～34歳が6時間55分と最も長く、これより年齢が低く又は高くなるほど短くなっている。

また、男女別にみると、男性は35～44歳が7時間40分と最も長く、女性は25～34歳が5時間52分と最も長くなっている。

表9 有業者数及び有業率（15歳以上） - 週全体

		有業者数（千人）		有業率（%）（）内はポイント	
		平成13年	平成8年	平成13年	平成8年
総数	総数	1,207 (-54)	1,261	60.7 (-5.0)	65.7
	男	717 (-29)	746	74.4 (-5.6)	80.0
	女	490 (-25)	515	47.9 (-4.3)	52.2
生産年齢人口	総数	1,104 (-58)	1,162	69.7 (-3.7)	73.4
	男	647 (-33)	680	81.5 (-4.5)	86.0
	女	456 (-27)	483	57.6 (-3.6)	61.1

（）内は平成8年との増減

### 15～24歳の仕事時間が1時間20分と大幅に減少

有業者の1日の仕事時間を平成8年と比較すると、19分の減少となっており、男女別では、男性が16分の減少、女性が24分の減少で、女性の減少幅の方が大きくなっている。

年齢階級別では、25～34歳を除くすべての年齢階級で減少しており、その減少幅は、15～24歳が1時間20分と最も大きくなっている。

また、これを全国と比較すると、14分（男性6分、女性21分）長くなっている。

表10 年齢階級別仕事時間（有業者） - 週全体

（時間・分）

	総数		男		女	
	平成13年	平成8年	平成13年	平成8年	平成13年	平成8年
15歳以上	6.13 (-0.19)	6.32	6.54 (-0.16)	7.10	5.12 (-0.24)	5.36
15～24歳	5.23 (-1.20)	6.43	5.53 (-1.20)	7.13	4.53 (-1.15)	6.08
25～34歳	6.55 (0.08)	6.47	7.37 (0.08)	7.29	5.52 (0.04)	5.48
35～44歳	6.45 (-0.10)	6.55	7.40 (-0.11)	7.51	5.20 (-0.13)	5.33
45～54歳	6.29 (-0.10)	6.39	7.24 (0.05)	7.19	5.13 (-0.32)	5.45
55～64歳	5.33 (-0.29)	6.02	5.59 (-0.35)	6.34	4.51 (-0.16)	5.07
65～74歳	4.55 (-0.20)	5.15	5.21 (-0.25)	5.46	3.24 (-0.55)	4.19
75歳以上	2.39 (-1.39)	4.18	3.02 (-1.29)	4.31	1.52 (-1.31)	3.23
全国	5.59 (-0.16)	6.15	6.48 (-0.12)	7.00	4.51 (-0.20)	5.11

（）内は平成8年との増減

## 正規の職員・従業員の仕事時間が最も長い

雇用者の仕事時間を雇用形態別にみると、正規の職員・従業員が7時間3分と最も長く、次いで、アルバイト 4時間32分、パート 4時間28分などとなっている。

なお、自営業者は5時間51分となっている。

表11 雇用形態別仕事時間 - 週全体

	総 数			男			女		
	人 口 (千人)	仕事時間 (時間・分)	仕事時間総量 (千時間)	人 口 (千人)	仕事時間 (時間・分)	仕事時間総量 (千時間)	人 口 (千人)	仕事時間 (時間・分)	仕事時間総量 (千時間)
雇 用 者 (15歳以上)	916	6.25	5,878	547	7.04	3,865	369	5.26	2,005
正規の職員・従業員	641	7.03	4,519	460	7.17	3,350	180	6.29	1,167
パ ー ト	129	4.28	576	8	7.46	62	121	4.18	520
ア ル バ イ ト	98	4.32	444	51	5.03	258	47	3.57	186
そ の 他	48			28			21		
自 営 業 者 (15歳以上)	135	5.51	790	108	6.18	680	27	3.53	105

仕事時間総量 = 人口 × 仕事時間

## (2) 家事関連時間

### 1日に約5時間を家事関連に費やす35～44歳の女性

15歳以上の人の家事関連時間(「家事」、「介護・看護」、「育児」、「買い物」の合計時間)(週全体)は、2時間5分で、男性が33分、女性が3時間29分と男女の間に大きな差がある。

年齢階級別にみると、35～44歳の家事関連時間が2時間43分と最も長くなっている。

これを男女別にみると、男性は75歳以上の年齢階級で58分と長く、15～24歳では17分と最も短くなっている。一方、女性は35～44歳が4時間52分と最も長く、15～24歳では1時間13分と短くなっている。

### 依然男女の差が大きい家事関連時間

家事関連時間を平成8年と比較すると、男性は8分、女性は7分の増加となっているが、男女の差は2時間56分と依然として大きい。

また、これを全国と比較すると、6分(男性同じ、女性16分)短くなっている。

表 1 2 年齢階級別家事関連時間 - 週全体

(時間 .分)

	総 数		男		女		男 - 女
	平成 13 年	平成 8年	平成 13 年	平成 8年	平成 13 年	平成 8年	
15歳以上	2.05 ( 0.05)	2.00	0.33 ( 0.08)	0.25	3.29 ( 0.07)	3.22	-2.56
15~ 24歳	0.44 ( 0.03)	0.41	0.17 ( 0.01)	0.16	1.13 ( 0.03)	1.10	-0.56
25~ 34歳	2.10 (-0.20)	2.30	0.36 ( 0.06)	0.30	3.45 (-0.46)	4.31	-3.09
35~ 44歳	2.43 ( 0.09)	2.34	0.31 ( 0.07)	0.24	4.52 ( 0.06)	4.46	-4.21
45~ 54歳	2.10 ( 0.06)	2.04	0.26 ( 0.07)	0.19	3.57 ( 0.08)	3.49	-3.31
55~ 64歳	2.32 ( 0.05)	2.27	0.37 ( 0.15)	0.22	4.18 ( 0 )	4.18	-3.41
65~ 74歳	2.29 ( 0 )	2.29	0.45 (-0.03)	0.48	3.56 ( 0.03)	3.53	-3.11
75歳以上	1.40 ( 0.25)	1.15	0.58 ( 0.31)	0.27	2.04 ( 0.19)	1.45	-1.06
全 国	2.11 ( 0.02)	2.09	0.33 ( 0.06)	0.27	3.45 (-0.01)	3.46	-3.12

( )内は平成 8年との増減

**有業者，無業者とも微減**

ふだんの就業状態別に家事関連時間をみると、有業者は1時間19分、無業者は3時間11分と、有業者に比べ無業者が1時間52分長くなっている。

平成8年と比較すると、有業者は1分、無業者は7分減少している。

表 1 3 ふだんの就業状態別家事関連時間 - 週全体

(時間 .分)

		平成 13 年		平成 8 年		平成 13 年 有業者 - 無業者
		有 業 者	無 業 者	有 業 者	無 業 者	
総 数	家事関連時間	1.19 (-0.01)	3.11 (-0.07)	1.20	3.18	-1.52
	家 事	0.53 (-0.01)	2.15 (-0.05)	0.54	2.20	-1.22
	介護・看護	0.02 ( 0 )	0.04 (-0.04)	0.02	0.08	-0.02
	育 児	0.05 (-0.02)	0.24 ( 0.01)	0.07	0.23	-0.19
	買 い 物	0.19 ( 0.02)	0.28 ( 0.01)	0.17	0.27	-0.09
男	家事関連時間	0.28 ( 0.07)	0.49 ( 0.08)	0.21	0.41	-0.21
	家 事	0.10 (-0.04)	0.28 ( 0.02)	0.06	0.26	-0.18
	介護・看護	0.02 ( 0.01)	0.02 ( 0 )	0.01	0.02	0.00
	育 児	0.05 ( 0.02)	0.03 ( 0.02)	0.03	0.01	0.02
	買 い 物	0.11 ( 0 )	0.16 ( 0.04)	0.11	0.12	-0.05
女	家事関連時間	2.35 (-0.09)	4.18 (-0.03)	2.44	4.21	-1.43
	家 事	1.57 (-0.05)	3.05 ( 0 )	2.02	3.05	-1.08
	介護・看護	0.02 (-0.01)	0.05 (-0.06)	0.03	0.11	-0.03
	育 児	0.06 (-0.06)	0.34 ( 0.02)	0.12	0.32	-0.28
	買 い 物	0.30 ( 0.03)	0.34 ( 0.01)	0.27	0.33	-0.04

( )内は平成 8年との増減

## 4 3次活動時間

### (1) 休養等自由時間活動の時間

#### 45～54歳で最も短い休養等自由時間活動時間

10歳以上の人の休養等自由時間活動の時間（「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」,「休養・くつろぎ」の合計時間）は3時間54分で、このうち「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」に費やす時間が2時間34分となっている。

年齢階級別にみると、45～54歳が3時間13分と最も短く、年齢が高くなるほど長くなっている。

#### 35～44歳で大幅に増加

休養等自由時間活動の時間を平成8年と比較すると、5分の増加となっており、このうち「休養・くつろぎ」の時間は男性で6分の増加となっている。

年齢階級別にみると、35～44歳で30分、25～34歳で21分と大幅な増加となっている。

また、これを全国と比較すると、3分（男性-3分、女性+9分）長くなっている。

表14 3次活動時間 - 週全体

(時間・分)

	総 数		男		女	
	10歳以上	15歳以上	10歳以上	15歳以上	10歳以上	15歳以上
3次活動	6.33 (0.25)	6.31 (0.27)	6.35 (0.24)	6.32 (0.24)	6.31 (0.26)	6.30 (0.29)
休養等自由時間活動	3.54 (0.03)	3.56 (0.05)	3.53 (0.05)	3.55 (0.07)	3.55 (0.01)	3.57 (0.03)
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.34 (0)	2.36 (0.02)	2.35 (-0.01)	2.37 (0.01)	2.33 (0.01)	2.35 (0.03)
休養・くつろぎ	1.20 (0.03)	1.20 (0.03)	1.18 (0.06)	1.18 (0.06)	1.22 (0)	1.22 (0)
積極的自由時間活動	1.12 (0.14)	1.08 (0.15)	1.23 (0.12)	1.18 (0.13)	1.04 (0.16)	1.00 (0.17)
学習・研究(学業以外)	0.13 (0.01)	0.11 (0.01)	0.13 (0)	0.11 (0)	0.14 (0.02)	0.12 (0.03)
趣味・娯楽	0.43 (0.13)	0.43 (0.13)	0.49 (0.12)	0.48 (0.11)	0.38 (0.14)	0.37 (0.13)
スポーツ	0.11 (-0.02)	0.09 (-0.01)	0.15 (-0.03)	0.13 (-0.01)	0.07 (-0.02)	0.06 (-0.01)
ボランティア活動・社会参加活動	0.05 (0.02)	0.05 (0.02)	0.06 (0.03)	0.06 (0.03)	0.05 (0.02)	0.05 (0.02)
交際・付き合い	0.27 (-0.01)	0.27 (-0.02)	0.25 (-0.01)	0.25 (-0.02)	0.29 (0)	0.30 (0)

( )内は平成8年との増減

表 1 5 年齢階級別休養等自由時間活動の時間 - 週全体

(時間・分)

	総 数		男		女	
	平成 13 年	平成 8年	平成 13 年	平成 8年	平成 13 年	平成 8年
15歳以上	3.56 ( 0.05)	3.51	3.55 ( 0.07)	3.48	3.57 ( 0.03)	3.54
15~24歳	3.33 (-0.17)	3.50	3.41 (-0.04)	3.45	3.24 (-0.33)	3.57
25~34歳	3.15 ( 0.21)	2.54	3.17 ( 0.19)	2.58	3.13 ( 0.23)	2.50
35~44歳	3.32 ( 0.30)	3.02	3.28 ( 0.35)	2.53	3.37 ( 0.24)	3.13
45~54歳	3.13 (-0.08)	3.21	3.10 (-0.07)	3.17	3.16 (-0.07)	3.23
55~64歳	4.06 (-0.01)	4.07	4.14 (-0.06)	4.20	3.58 ( 0.02)	3.56
65~74歳	4.59 (-0.17)	5.16	5.19 (-0.22)	5.41	4.42 (-0.15)	4.57
75歳以上	6.33 (-0.07)	6.40	6.28 (-0.05)	6.33	6.35 (-0.10)	6.45
全 国	3.53 ( 0.04)	3.49	3.58 ( 0.06)	3.52	3.48 ( 0.02)	3.46

( )内は平成 8年との増減

**( 2 ) 積極的自由時間活動の時間****積極的自由時間活動の時間が短い 35 ~ 44 歳**

15歳以上の人の積極的自由時間活動の時間(「学習・研究(学業以外)」、「趣味・娯楽」、「スポーツ」、「ボランティア活動・社会参加活動」の合計時間)は、1時間8分で、このうち「趣味・娯楽」に費やす時間が43分と最も長く、次いで、「学習・研究」、「スポーツ」の順となっている。

男女別にみると、男性は1時間18分、女性は1時間と男性が長くなっている。

年齢階級別にみると、15~24歳が1時間55分と長く、35~44歳が44分と短くなっている。

**積極的自由時間活動の時間は 20 歳代前半で大きく増加**

積極的自由時間活動の時間を平成8年と比較すると、15分の増加となっており、このうち「趣味・娯楽」の時間は男女とも増加しており、男性は11分、女性は13分の増加となっている。

年齢階級別では、35~44歳を除くすべての年齢階級で増加しており、特に、55~64歳で27分と大きく増加している。

また、これを全国と比較すると、2分(男性同じ、女性+1分)短くなっている。

表 1 6 年齢階級別積極的自由時間活動の時間 - 週全体

(時間・分)

	総 数		男		女	
	平成 13 年	平成 8年	平成 13 年	平成 8年	平成 13 年	平成 8年
15歳以上	1.08 ( 0.15)	0.53	1.18 ( 0.13)	1.05	1.00 ( 0.17)	0.43
15~24歳	1.55 ( 0.24)	1.31	1.57 ( 0.06)	1.51	1.52 ( 0.41)	1.11
25~34歳	0.59 ( 0.12)	0.47	1.07 ( 0.04)	1.03	0.52 ( 0.22)	0.30
35~44歳	0.44 (-0.02)	0.46	0.50 ( 0.02)	0.48	0.37 (-0.05)	0.42
45~54歳	0.56 ( 0.15)	0.41	1.01 ( 0.11)	0.50	0.51 ( 0.17)	0.34
55~64歳	1.10 ( 0.27)	0.43	1.12 ( 0.25)	0.47	1.09 ( 0.28)	0.41
65~74歳	1.14 ( 0.15)	0.59	1.34 ( 0.23)	1.11	0.56 ( 0.08)	0.48
75歳以上	0.56 ( 0.26)	0.30	1.33 ( 0.56)	0.37	0.33 ( 0.07)	0.26
全 国	3.53 ( 0.04)	3.49	3.58 ( 0.06)	3.52	3.48 ( 0.02)	3.46

( )内は平成 8年との増減